

平成26年3月期 第2四半期決算説明会

平成25年11月8日



ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

Contents

- 1.第2四半期(累計)業績の総括
- 2.第2四半期(累計)の概況
- 3.計測・計量機器事業 実績-1
- 4.計測・計量機器事業 実績-2
- 5.DSP事業の業績
- 6.医療・健康機器事業 実績-1
- 7.医療・健康機器事業 実績-2
- 8.財務分析(貸借対照表)①
- 9.財務分析(貸借対照表)②
- 10.設備投資・減価償却費の推移
- 11.26年3月期通期見通し
- 12.計測・計量機器事業 見通し-1
- 13.計測・計量機器事業 見通し-2
- 14.医療・健康機器事業 見通し-1
- 15.医療・健康機器事業 見通し-2
- 16.シーエム精機(株)設立
- 17.ウェイトチェッカ AD-4961
- 18.(株)MBS設立
- 19.NEW-HILLSドラム試験機
- 20.(株)日立システムズとヘルスケア分野で協業
- 21.補足資料

第2四半期(累計)業績の総括

- 円安の影響により海外現地法人の円換算での売上が増加したが、一方で販管費も増加し、増収減益。
- 国内は前期に引き続き、DSP事業を中心に受注は堅調ながら、売上は予想に届かず。

第2四半期(累計)の概況

(単位：百万円)

連結損益	25/3期 2 Q累計	26/3期 2 Q累計	前期比 増加率	2 Q 累計予想	予想比	コメント
売上高	15,162	16,696	+10.1%	17,800	-6.2%	DSP売上にやや遅れ
売上原価	8,158	9,181	+12.5%	9,540	-3.8%	
販売費及び 一般管理費	6,860	7,705	+12.3%	7,860	-2.0%	円安により海外経費が増加
営業利益	144	-190	—	400	—	
経常利益	-154	-354	—	220	—	
税引き前 利益	-89	-357	—	220	—	
当期 純利益	-167	-387	—	130	—	
1株当たり 利益(円)	-8.26	-18.09	—	6.08	—	

(注) 1. 2Q累計予想は、5月10日付の「平成25年3月期決算短信」にて発表した予想であります(以下同じ)。

2. 小数点以下(百万円未満)は四捨五入で表記しています(以下同じ)。

計測・計量機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		25/3期 2Q累計	26/3期 (実績)	前年 同期比	2Q 累計予想	予 想 比
計測・計量 機器事業	売 上	9,099	9,663	+6.2%	10,380	-6.9%
	売 上 原 価	5,122	5,623	+9.8%	5,890	-4.5%
	販 管 費	3,726	4,122	+10.6%	4,130	-0.2%
	営 業 利 益	252	-82	—	360	—

1. 円安の影響もあり売上増となったものの、DSP機器が伸び悩み。

⇒売上は前期比では6.2%増

2. 海外現法の販管費も円安により円換算で増加。

⇒営業利益が前期比で334百万円の減少

計測・計量機器事業 実績-2



(単位：百万円)

製 品 種 別	25/3期 2 Q累計	26/3期 2 Q累計	前 年 同期比	2 Q 累計予想	予想比
計 測 機 器	1,669	1,635	-2.0%	1,680	-2.7%
計 量 機 器	5,434	5,906	+8.7%	5,890	+0.3%
計測・制御・シミュレ ーションシステム (DSP)	1,672	1,832	+9.6%	2,460	-25.5%
電 子 ビ ー ム 関 連 ユ ニ ッ ト	324	290	-10.5%	350	-17.1%
売 上 合 計	9,099	9,663	+6.2%	10,380	-6.9%

- 計測機器 : 試験機が好調な一方、熱中症計が振るわず横ばい。
- 計量機器 : 円安の影響もあり、海外における売上が伸長。
- DSP : 受注は伸長したが、売上は届かず。
- 電子ビーム関連ユニット : 半導体向け設備投資が停滞気味で売上減少。

DSP事業の業績

(単位：百万円)

	用途種別	24/3期 (実績)		25/3期 (実績)		26/3期 (実績)
		上期	下期	上期	下期	上期
新規事業	自動車関連	872	2,011	1,443	2,919	1,586
	試験機関連	45	46	38	37	45
	その他	131	255	191	275	201
	小計	1,048	2,313	1,672	3,230	1,832
既存事業への DSP技術応用	特殊試験機関連	97	191	26	116	91
	計量制御関連	38	58	92	76	46
	医療機器		3	13	61	9
	小計	134	251	131	253	146
合計		1,182	2,563	1,803	3,483	1,978
売上合計 (通期)		3,745		5,287		1,978

昨年引き続き、自動車関連の各種試験装置を中心に売上が伸長。

医療・健康機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	前年 同期比	2Q 累計予想	予 想 比
医療・健康 機器事業	売 上	6,062	7,032	+16.0%	7,420	-5.2%
	売 上 原 価	3,051	3,388	+11.0%	3,650	-7.2%
	販 管 費	2,449	2,950	+20.4%	3,110	-5.2%
	営 業 利 益	561	694	+23.7%	660	+5.2%

1. 健康機器を中心に売上が伸長。
⇒売上高は前期比16.0%増加
2. 売上増加に伴い、営業利益も伸長。
⇒営業利益は前期比23.7%増加

医療・健康機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製品種別	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	前期比	2Q 累計予想	予想比
医療機器	1,216	1,253	+3.1%	1,440	-13.0%
健康機器	4,847	5,779	+19.2%	5,980	-3.4%
売上合計	6,062	7,032	+16.0%	7,420	-5.2%

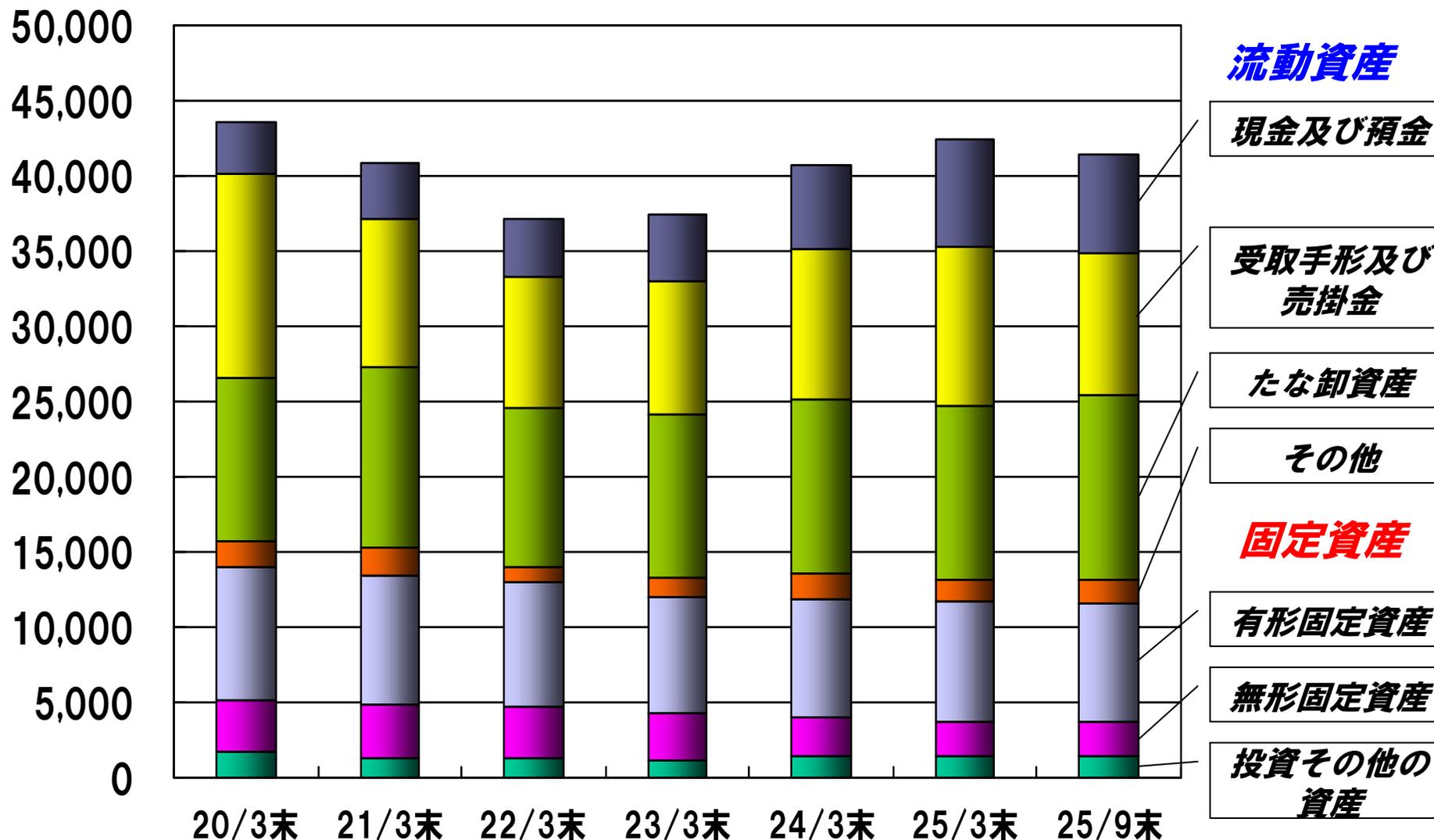
医療機器：メディカル計量器は堅調に推移したが、そのほか伸び悩み。

健康機器：国内外における売上増に加え、円安に伴う海外売上の円換算金額の増加により大幅増。

財務分析（貸借対照表）

貸借対照表分析 資産の部

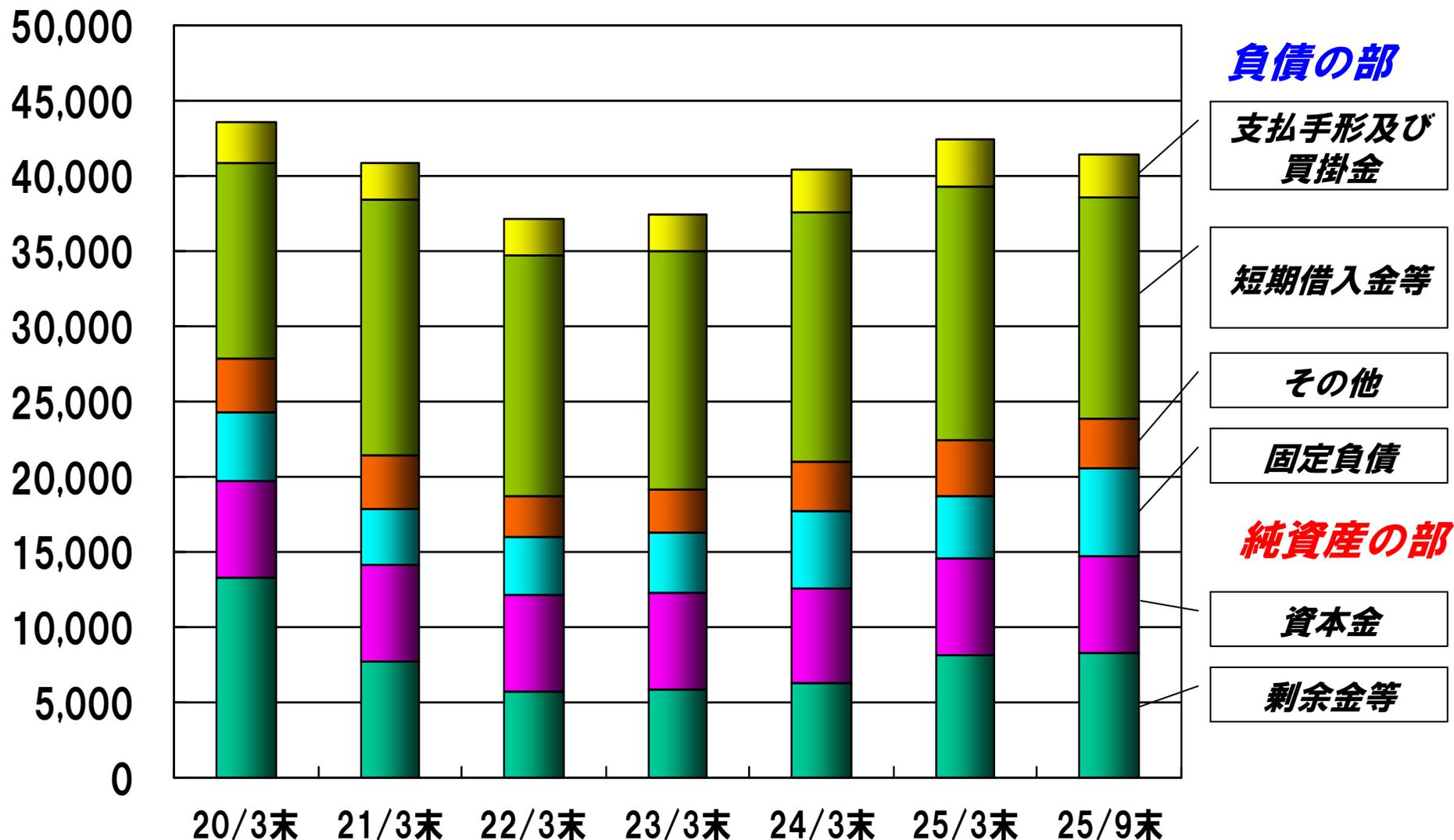
(単位：百万円)



財務分析（貸借対照表）

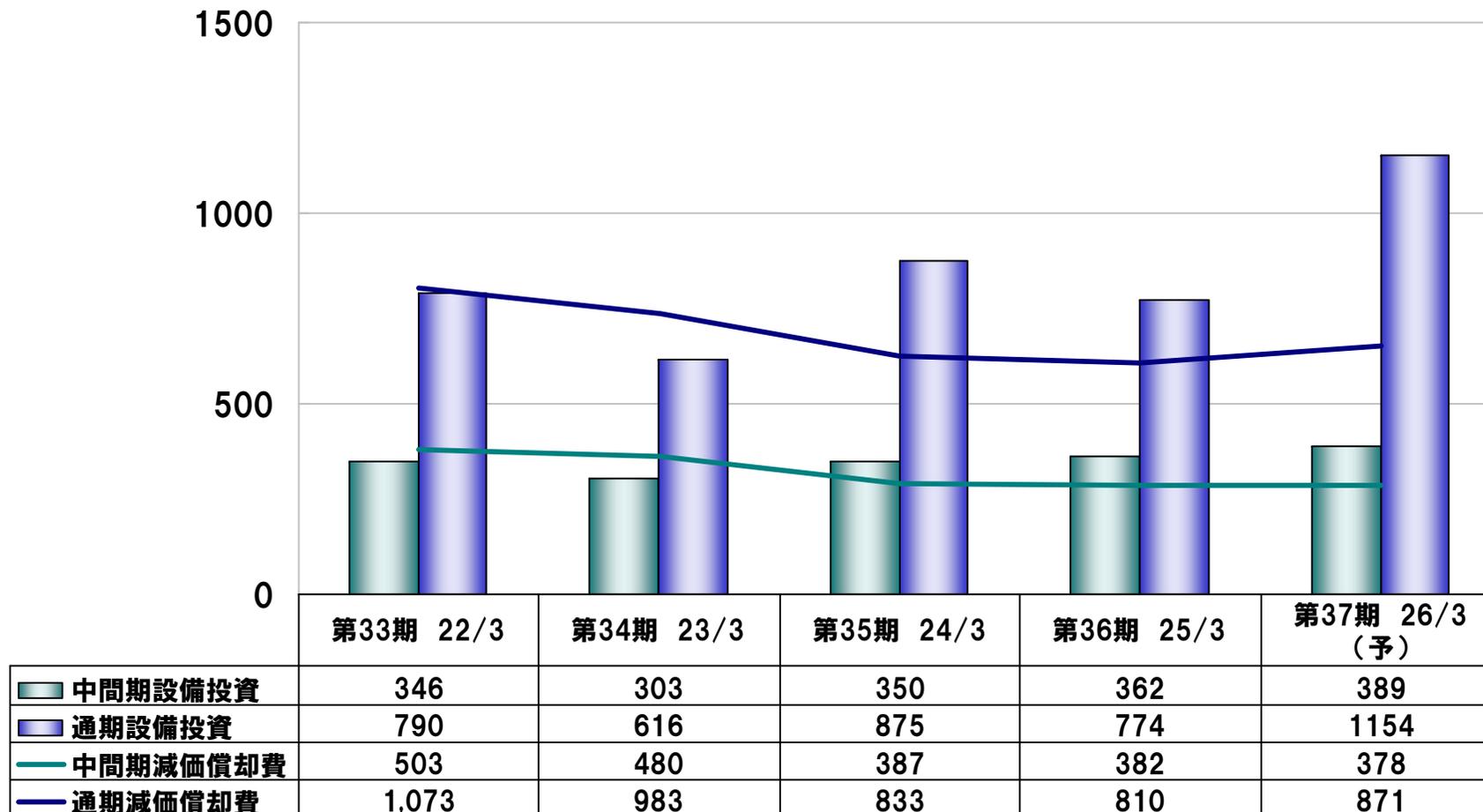
貸借対照表分析 負債・純資産の部

(単位：百万円)



設備投資・減価償却費の推移

(単位:百万円)



下期の設備投資は大型試験機の組立工場新築のため、大幅増。

26年3月期通期見通し



(単位：百万円)

連結損益	25/3期 (実績)	26/3期		26/3期 (通期予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
売上高	34,313	16,696	22,504	39,200	+14.2%
売上原価	18,816	9,181	11,989	21,170	+12.5%
販売費及び 一般管理費	14,189	7,705	8,025	15,730	+10.9%
営業利益	1,309	-190	2,490	2,300	+75.7%
経常利益	1,029	-354	2,304	1,950	+89.6%
税引き前 利益	1,087	-357	2,307	1,950	+79.3%
当期純利益	903	-387	2,087	1,700	+88.3%
1株当たり 利益(円)	44.37	-18.09	97.65	79.56	+79.3%

(注) 26年3月期予想は、5月10日付の「平成25年3月期決算短信」にて発表した予想であります(以下同じ)。

計測・計量機器事業 見通し-1



(単位：百万円)

セグメント		25/3期 (実績)	26/3期		26/3期 (予想)	前期比
			上期実績	下期予想		
計測・計量 機器事業	売上	19,923	9,663	12,837	22,500	+12.9%
	売上原価	11,482	5,623	7,217	12,840	+11.8%
	販管費	7,618	4,122	4,098	8,220	+7.9%
	営業利益	823	-82	1,522	1,440	+75.0%

1. 売上

受注が好調なDSP機器・計量器を中心に、前期比12.9%の増加を見込む

2. 営業利益

DSP機器・試験機の標準化を進めることで製造原価のコストダウンを図り、営業利益の拡大を目指す

計測・計量機器事業 見通し-2



(単位：百万円)

製品種別	25/3期 (実績)	26/3期		26/3期 (予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
計測機器	3,396	1,635	2,215	3,850	+13.4%
計量機器	10,921	5,906	6,144	12,050	+10.3%
計測・制御・シミュレーションシステム (DSP)	4,902	1,832	4,068	5,900	+20.4%
電子ビーム 関連ユニット	704	290	410	700	-0.6%
売上合計	19,923	9,663	12,837	22,500	+12.9%

計測機器：

- ・好調な大型試験機を中心に拡販

計量機器：

- ・新規参入となるウェイトチェッカ・金属検出機の拡販
- ・マーケット別はかりの開発および拡販

DSP：

- ・自動車関連を中心に引き続き拡販を推進
- ・幅広い技術力を活かし、多様なユーザーニーズへの対応

電子ビーム関連ユニット：

- ・電子ビーム等を利用した応用市場の開拓

医療・健康機器事業 見通し-1



(単位：百万円)

セグメント	25/3期 (実績)	26/3期		26/3期 (予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
医療・健康 機器事業	売上	14,390	9,668	16,700	+16.0%
	売上原価	7,202	4,942	8,330	+15.7%
	販管費	5,278	3,320	6,270	+18.8%
	営業利益	1,911	1,406	2,100	+9.9%

1. 売上

円安による価格競争力の向上に加え、新製品の投入、新興市場の開拓等により、売上は前期比16.0%増を見込む

2. 営業利益

人民元高および中国工場の人件費の増加等、原価上昇要因はあるが、生産性向上で原価率維持

⇒営業利益は前期比9.9%増加を見込む

医療・健康機器事業 見通し-2

(単位：百万円)

製品種別	25/3期 (実績)	26/3期		26/3期 (予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
医療機器	2,692	1,253	1,847	3,100	+15.2%
健康機器	11,699	5,779	7,821	13,600	+16.3%
売上合計	14,390	7,032	9,668	16,700	+16.0%

医療機器：・好調なメディカル計量器のシェア拡大効果を医療機器全体の販売促進に生かす

健康機器：・新製品投入による新興国市場の開拓促進

- ・IT技術活用により、在宅医療および医療ICT（Information Communication Technology：情報通信技術）向け機器分野での売上伸張を図る

トピックス1～シーエム精機(株)設立

ウェイトチェッカ・金属検出機事業に参入

- ・今年6月、新会社シーエム精機(株)を設立、ウェイトチェッカおよび金属検出機を製造していたマイテック工業(株)および同製品を販売していた太平洋エンジニアリング(株)より事業を譲受け、同製品の製造・販売を開始しました。
- ・7月にはA & Dの技術を投入した新製品を発表し、関係各所より好評を得ております。



新製品発表会の模様

トピックス2～ウェイトチェッカ AD-4961

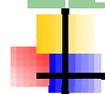
+ ウェイトチェッカは製造ラインでの商品の全数検査の自動化や質量の検査、質量による選別を行う目的で使用されます。当社の技術力を生かし、従来品より高性能かつ低価格なウェイトチェッカを開発・市場投入しました。



製品の主な特徴

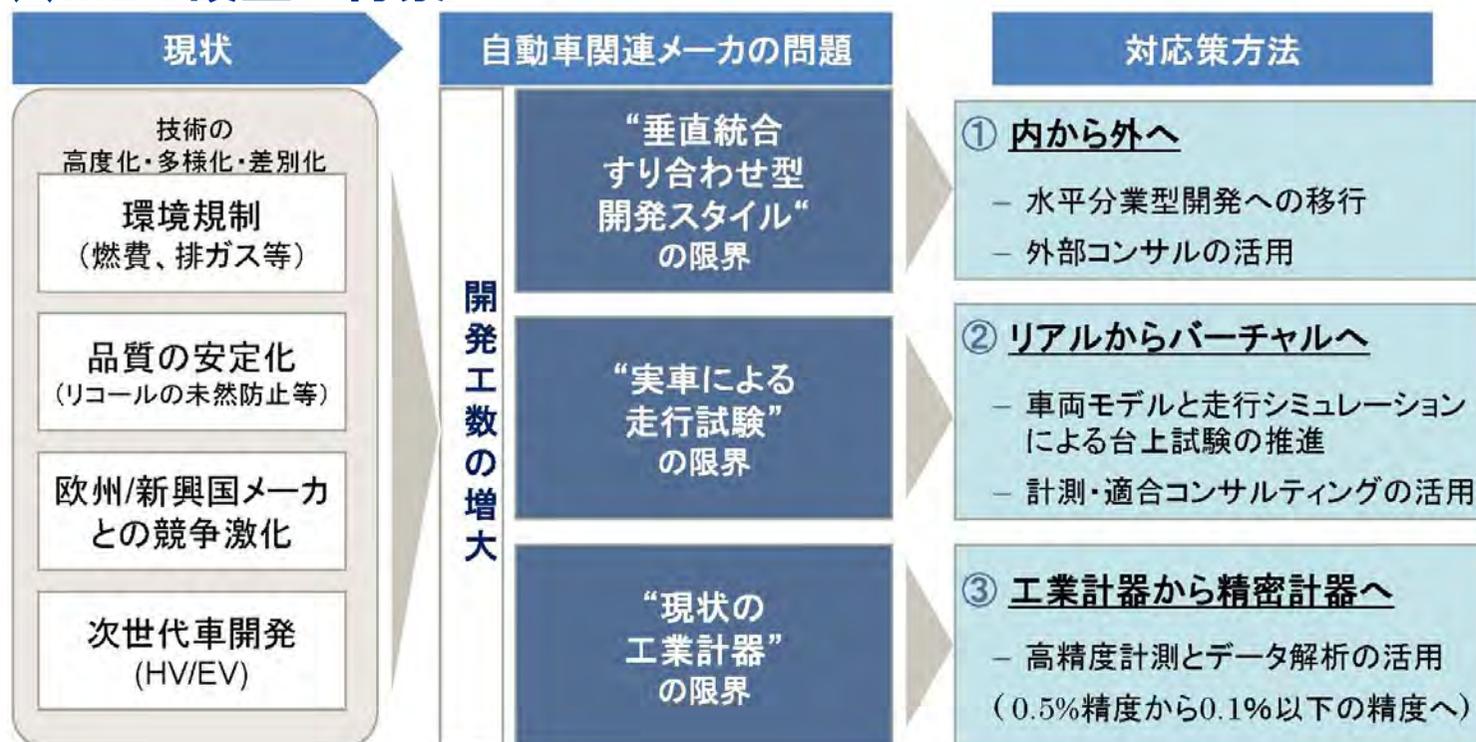
- (1) クラス最高性能の選別能力
新設計の剛性をアップさせたデジタル・ロードセル方式センサーと高精度・高分解能化をはかったコントロールボックスにより実現
- (2) 「防水機能」標準搭載で従来比30%～40%安価
従来はオプションとなる防水機能を標準搭載に
- (3) 業界初のUSBメモリー画像取込み機能搭載など、操作性の大幅な向上
- (4) 業界初の本体ユニット化でメンテナンス・移動等が容易に

トピックス3～(株)MBS設立



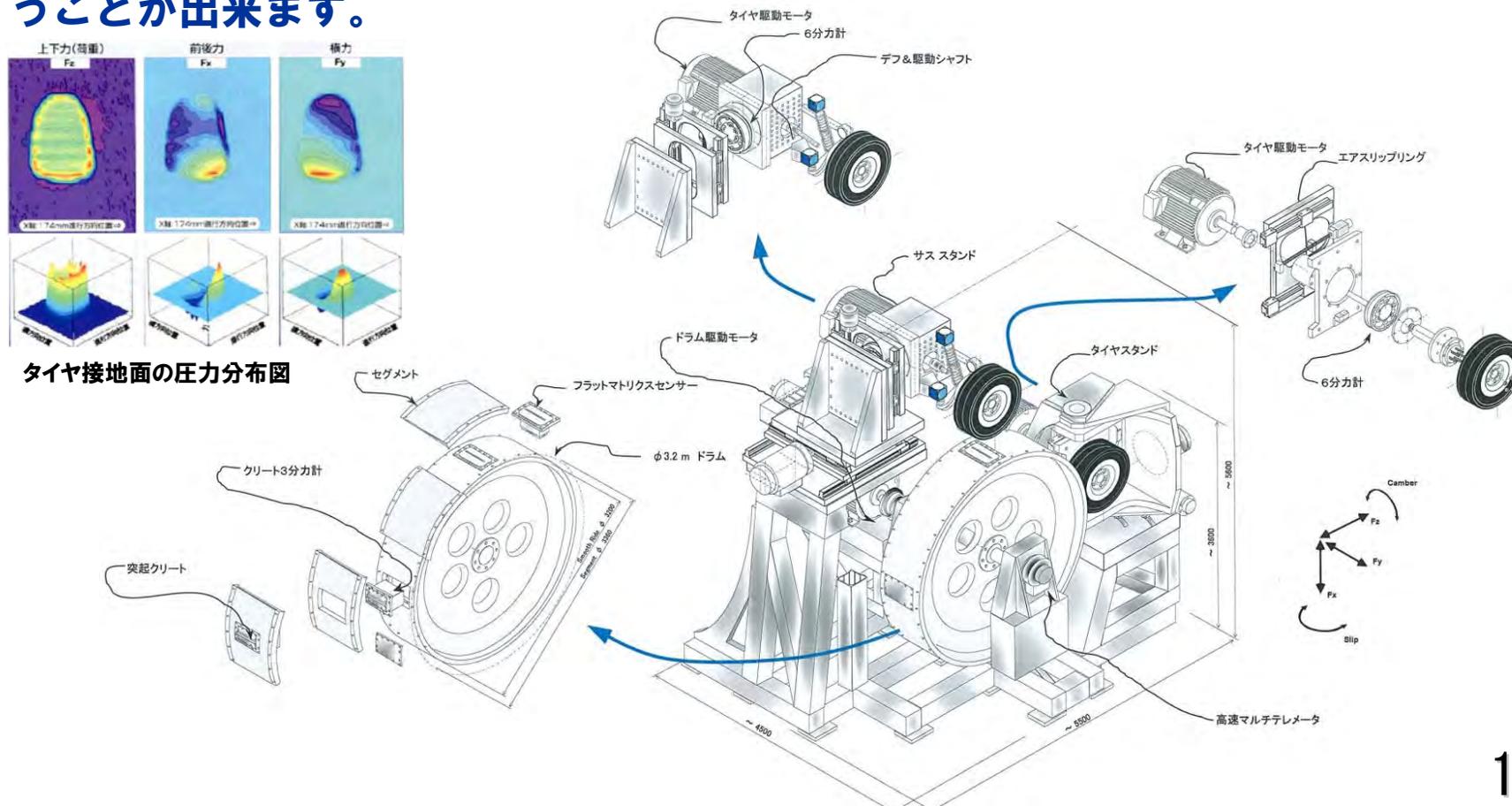
新会社(株)MBSはModel Based Simulation 技術を活かした当社の最新設備を用い、車両モデルをベースに実車状況を再現した台上試験を提供、自動車設計開発をサポートするコンサルティングと受託試験・計測等のサービスを行うことで、自動車開発におけるコスト削減と開発期間の短縮化に貢献します。

(株)MBS設立の背景

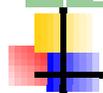


トピックス4～大型ドラム試験機 (DSP)

乗用車用タイヤの実走状態における路面反力やタイヤ接面の圧力分布を正確に測定するための試験機です。より平坦路面に近い状況を作るために、 $\phi 3\text{m}$ 以上の大径ドラムに3分力センサー付の突起クリートやFMS（フォースマトリクスセンサー）を装備し、動的な状態での路面に掛かる力の測定が可能です。また、分割セグメントを表面に取り付けて、様々な路面状態を再現した走行試験を行うことができます。



トピックス5～(株)日立システムズとヘルスケア分野で協業



(株)日立システムズと当社は、生活習慣病の予防や健康増進を目的とした新しいヘルスケアサービスを開発・提供するため、人の活動や睡眠の状況などを自動的に記録・集計・数値化する仕組み（ライフログ）を活用した健康（ヘルスケア）分野で協業を開始しました。

生活習慣改善支援クラウド

測定・通信 データ連携

Bluetooth®内蔵



純日本製初
Japan Quality

ライフレコーダー

リストバンド型 UW-301BT

Bluetooth®内蔵 Made for iPhone iPad



体組成計

Made for iPhone iPad

全自動血圧計



血圧計

Made for iPhone iPad



- 小型・軽量サイズに高精度&高信頼性
- 一日の活動、睡眠の状況を自動記録

蓄積・クラウド型解析

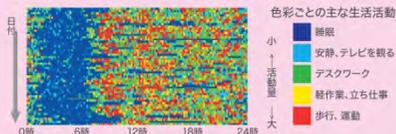
精密分析&データ多元活用=ビッグデータ

ライフログ クラウド

- 運動量と体重の変化
- 日々の生活シーン



■ 加速度センサにより日々の生活リズムを可視化



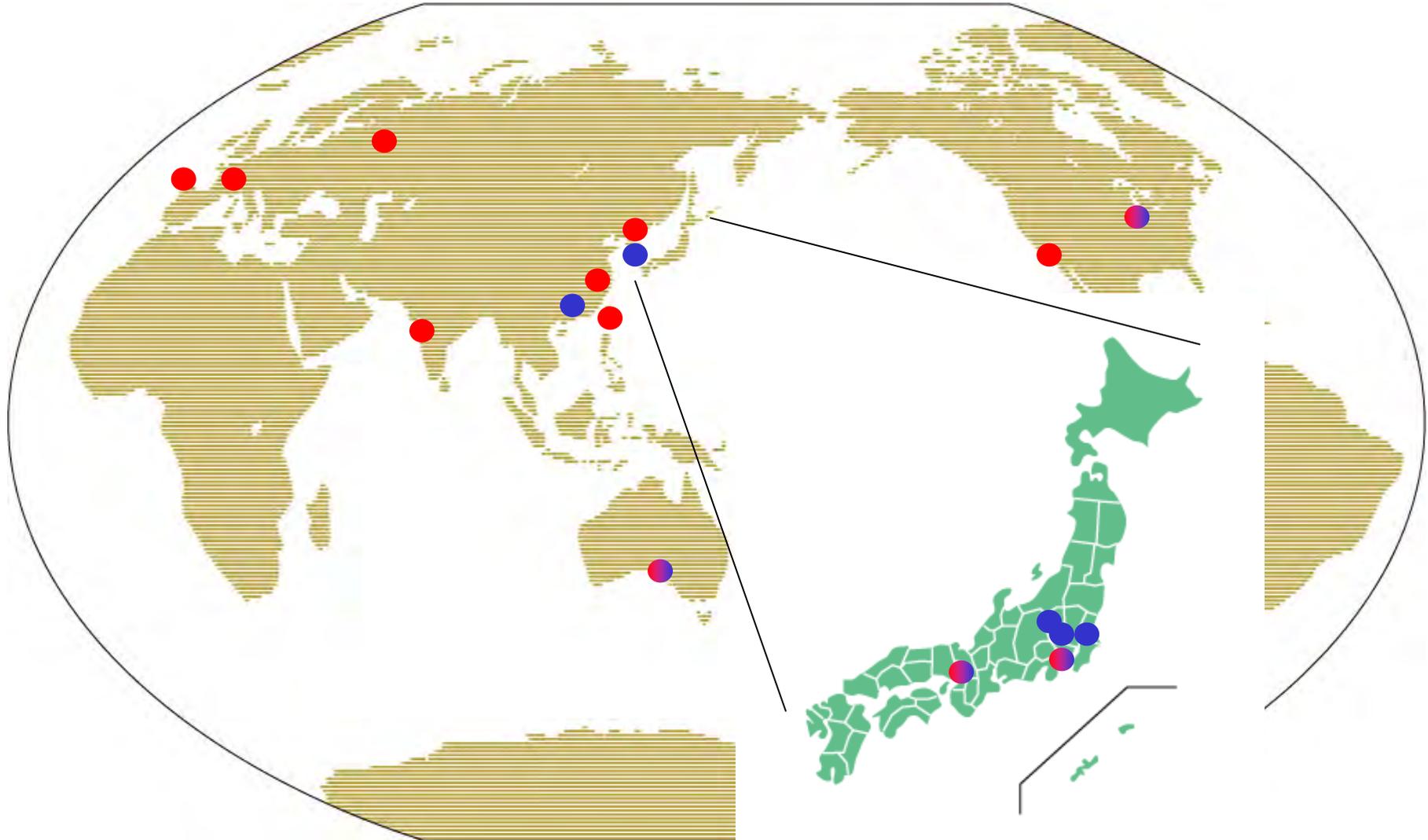
AND
株式会社 **エー・アンド・ティ**

補足資料



- 1 グループの概要
- 2 製品紹介（計測機器）
- 3 製品紹介（計量機器）
- 4 製品紹介（医療・健康機器）
- 5 DSPシステムとは
- 6 DSPシステムの採用事例－1
- 7 DSPシステムの採用事例－2
- 8 電子ビーム関連ユニット
- 9 開発の状況

グループの概要



A & Dは開発および販売を中心に活動
生産主体は国内外関係会社
海外販売は関係会社経由と直販を併用

- 生産・開発関係会社
- 販売関係会社

製品紹介（計測機器）

種 別	概 要	主 要 製 品
波 形 解 析	音・振動等時間的に変化する物理信号を収集および解析	波形解析システム、FFTアナライザ、データロガー
非破壊検査機器	超音波を利用して溶接欠陥や亀裂・腐食等を調査	超音波探傷器、超音波厚さ計
材 料 試 験 機	材料・部品の引っ張り圧縮強度や粘弾性・粘度を測定	引張圧縮試験機、動的粘弾性測定機、粘度計、摩擦摩耗試験機
電 子 計 測 器	プロからホビーや家庭まで、多種多様に取り揃えたデジタル電子計測機器	オシロスコープ、デジタルマルチメータ、タイマー、温湿度計、直流電源、壁内センサーetc.
油 圧 試 験 装 置	油圧サーボ機構を応用した各種試験装置	油圧式疲労試験機、油圧式振動試験機、油圧加振機等
環 境 計 測 機 器	各種排気ガス濃度測定器を始めとする環境計測機器	エンジン排ガス計測機器、燃料電池関連計測機器、各種ガス分析計等



万能材料試験機



動的粘弾性自動測定器



車載型リアルタイム
振動・騒音解析システム

熱中症計



超音波探傷器

製品紹介（計量機器）

種 別	概 要	用 途 等
電子天びん	軽量の物体の質量を高精度に計量する機器で、最大0.001mgまでの計量が可能	医薬品や精密材料等を対象に、研究開発向けから生産・検査まで幅広く使用
電子台秤	中・重量の物体の重量を計量する機器で、防水、防塵、防爆等、様々な環境に対応	厳しい環境下で使用される産業用から家庭で使用されるものまで、幅広い製品群をラインナップ
インジケータ	計量センサから得た信号を質量や力としてデジタル表示、及び制御を行う	粉・粒状物体の自動計量システム、台秤、トラックの積載量を計量するトラックスケール等に使用
ロードセル	金属製の起歪体に加わった荷重による歪みを検出して、電気抵抗値に変換するセンサ	台秤、トラックスケール、フックに吊り下げて計量するクレーンスケール、その他特殊用途に使用



分析用天秤



防水電子台秤



クレーンスケール



ウェィング・インジケータ



デジタル・ロードセル

製品紹介（医療・健康機器）

種 別	概 要	主 要 製 品	特 徴 等
病 院 用 デジタル血圧計	医療機関 や高齢者 介護施設 向血圧計	携帯型自動血圧計	24時間の日常生活での血圧変動を測定
		血 圧 監 視 装 置	SpO2 (動脈血酸素飽和度) と血圧を同時監視
		バイタルセンサ	血圧・体温・SpO2・ECG等バイタルサイン測定
		全自動血圧計	腕を入れるだけでワンタッチ操作の自動測定
メ デ ィ カ ル 計 量 器	医療機関 や高齢者 介護施設 向計量器	身長体重計	身長・体重をデジタル測定、肥満度等も表示
		ベッドスケール	治療時の体重変化を測定、監視、記録
		バリアフリースケール	フラットな計量台、車イス乗車のままや、手すりにつかまった状態で安全に計測
健 康 機 器	在宅での 健康管理 用機器	デジタル	血圧測定に不規則脈波検知、音声等も付加
		上腕式	
		血 圧 計	小型・軽量サイズで外出先でも手軽に血圧測定
		手首式	
		超音波吸入器	温熱、加湿効果でノド、鼻の不快感を緩和
		体 重 計	50g単位、肥満・痩せの基準BMIも表示



DSPシステムとは

DSPシステム

■ DSPシステムの特徴

- ◇自動車等の複雑な製品の開発・生産現場において、開発期間の短縮・ローコスト化を実現する画期的なシステムです

つないでテストする



エンジンの試作品



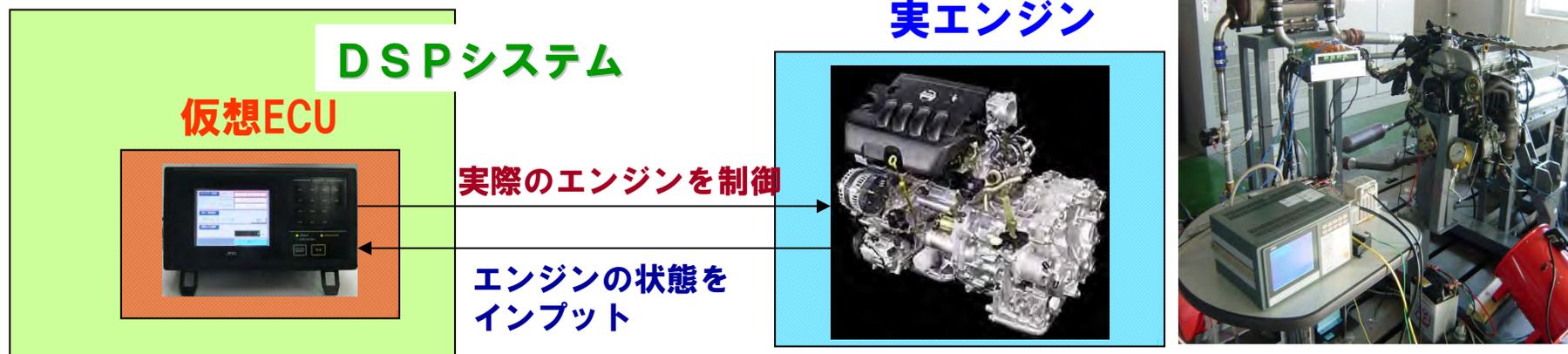
エンジン以外の車両部分をコンピュータにモデル化

エンジン以外の部分が完成していなくても、エンジンを実際の車両に搭載した場合を想定したテストを行う事が可能

DSPシステムの採用事例-1

RPT (Rapid Proto Type)

コンピュータ上にECUの試作モデルを作成して、実際のエンジンを制御してテストを行う



HILS (Hardware In the Loop Simulation)

コンピュータ上に仮想のエンジンや車両のモデルを作成して、試作品のECUのテストを行う



DSPシステムの採用事例-2

ORION

適合支援自動計測
ソフトウェア

1. 適合とは

ECU開発プロセスで、ECUがエンジンや変速機などの制御を最適に行うためにECUの設定作業（チューニング）を行うこと。

2. ORIONの特徴

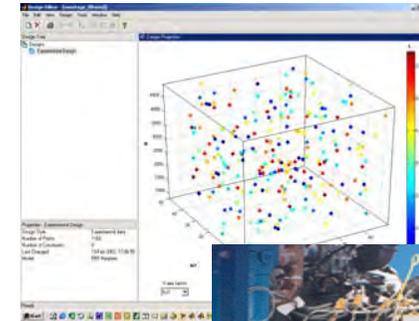
・フレキシビリティ

カスタマイズが容易で、ユーザーが計測アルゴリズムの作成等、各自の仕様に合わせて設定を変更出来る

・オープン性

他のシステムとの接続が可能であり、今まで使用していた資産の有効活用が可能

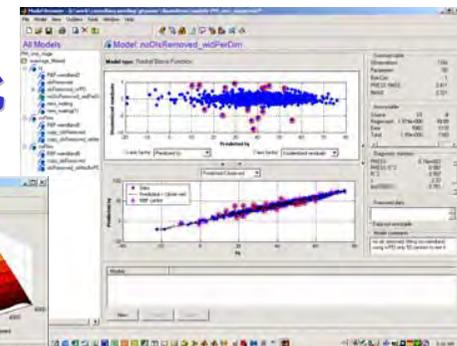
実験計画



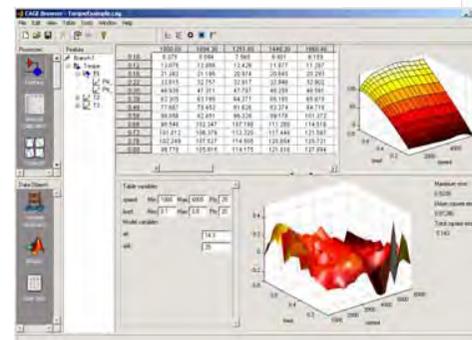
評価試験



ECUのモデル化



適合



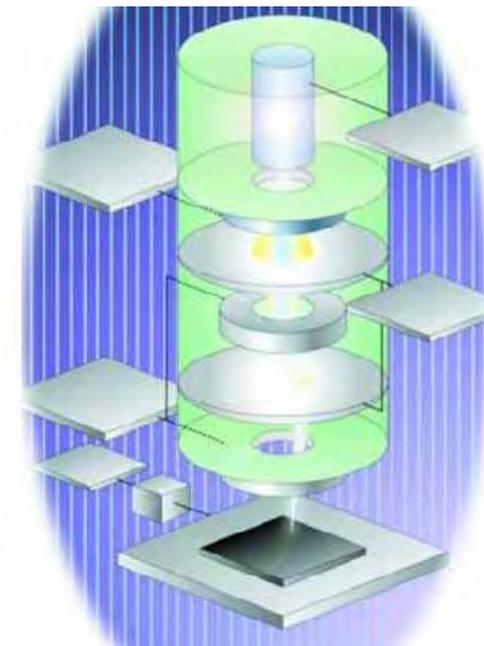
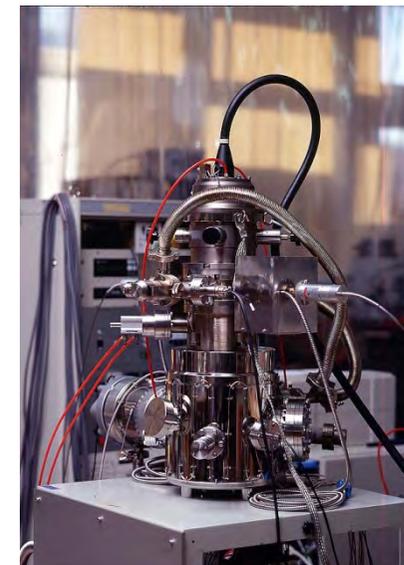
電子ビーム関連ユニット

電子ビーム関連ユニット

微細な半導体の回路を描画するための手段として、主にマスク製造（半導体のネガの様なもの）に電子ビームが利用されておりますが、当社は電子ビーム露光装置に組み込む基幹ユニットを半導体露光装置メーカーに提供しています

当社が提供する主要なユニット

- **ビーム偏向回路**
電子ビームの照射方向を制御するもので、精度・速度ともに世界最高水準です
- **電子銃**
電子ビームを発生させる設備で、世界でもトップクラスの出力と安定稼働率を備えています



開発の状況

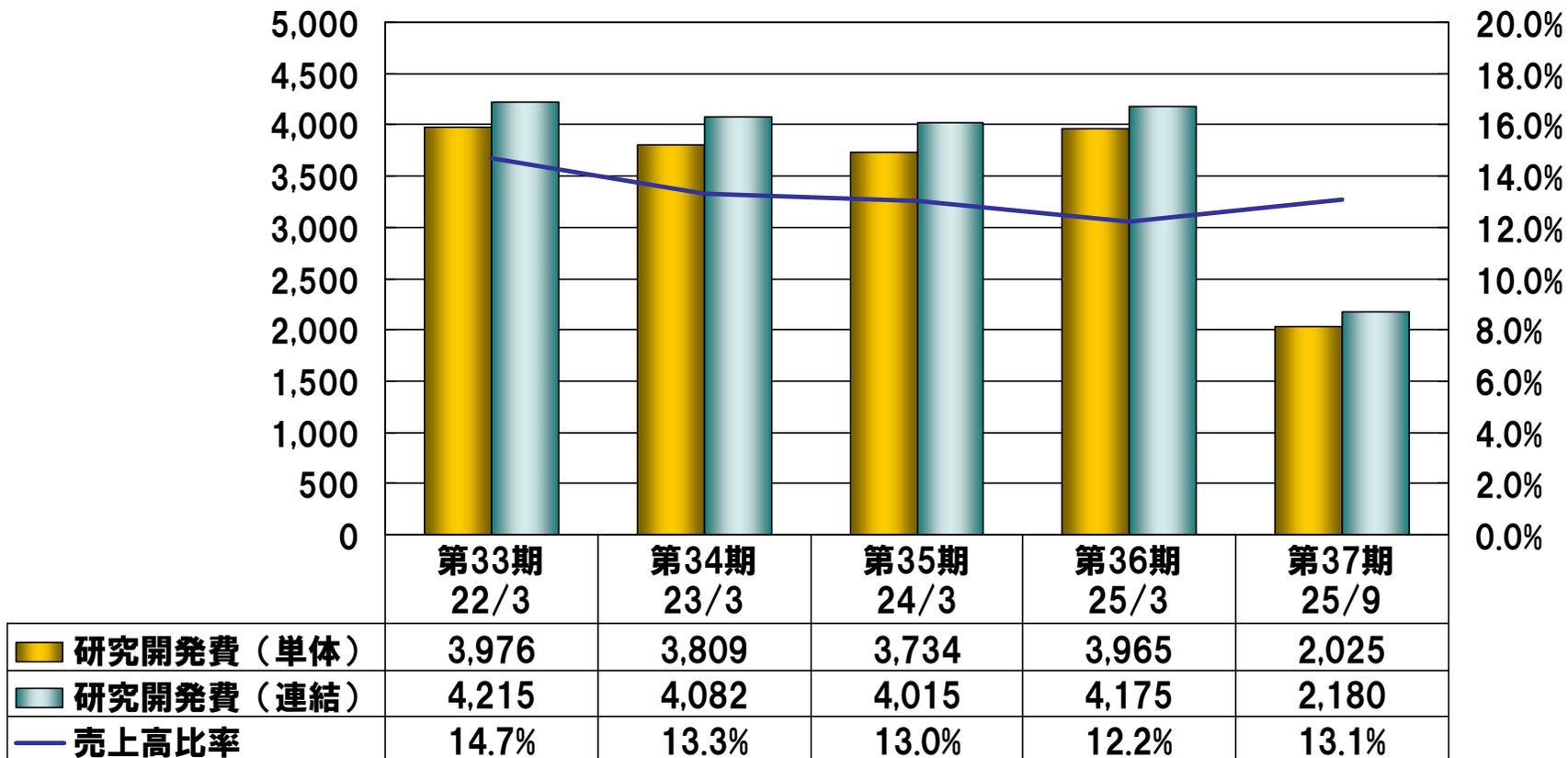


社内資源の多くを開発に投入し、
各事業分野で継続して開発を実施。

(平成25年9月末/A & D単体)

既存事業 196名 (52.7%) 開発人員比率
 新規事業 176名 (47.3%) (単体) は52.6%
 合計 372名

研究開発費
(単位：百万円)



※売上高比率は連結売上で算出

AND
株式会社 **エー・アンド・ティ**